

令和7年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業を着実に遂行するとともに、学術研究の成果と情報を学会内で整理・統合・発展させ、科学技術を広く社会に役立てていくための各種事業を行う。また、国内外の水産・海洋関連学会や試験研究機関等との連携を深めて学会活動の充実を図り、水産業への支援およびSDGsに関連する活動に引き続き取り組む。さらに、本学会の運営体制の充実を図るため、外部理事・監事の導入など新たな公益法人制度に対応した制度改正に取り組むとともに、社員総会における代議員制度導入の検討を進める。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、令和7年5月8日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

b) 東北支部

支部総会を年1回（令和8年2月予定）、支部幹事会を年3回（第1回令和7年6月予定、メール会議、第2回令和7年10月予定、於福島県、第3回令和8年2月予定、於東北大学）、連絡調整員会議を年1回（令和7年6月予定、メール会議）開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年1回（令和7年8月予定、オンライン開催）開催する。

d) 中部支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

e) 近畿支部

支部幹事会を年2回（第1回令和7年6月上旬予定、第2回令和7年12月上旬予定）開催する。

f) 中国・四国支部

支部総会を年1回（令和7年3月予定、メール会議）、支部幹事会を年1回（令和7年3月予定、メール会議）開催する。

g) 九州支部

支部総会を年1回（令和7年12月予定、於長崎大学）、支部幹事会を年1回（令和7年12月予定、於長崎大学）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目及び企画責任者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

- f) 水産環境保全委員会
水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、シンポジウム、講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- g) 漁業懇話会委員会
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- h) 水産利用懇話会委員会
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年3回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- i) 水産増殖懇話会委員会
懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- j) 国際交流委員会
国際交流に関する諸事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- k) 選挙管理委員会
理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。
- l) 水産教育推進委員会
水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年4回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- m) 水産技術誌監修委員会
水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- n) 水産政策委員会
会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- o) 男女共同参画推進委員会
本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。
- p) 水産学若手の会委員会
水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

- a) 春季大会：令和7年3月26日～3月29日
於北里大学相模原キャンパス（神奈川県相模原市）
大会委員長 天野勝文（北里大学）
研究発表 口頭、ポスター
高校生による研究発表
シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会
令和6年度学会賞受賞者講演
- b) 秋季大会：令和7年9月24日～9月27日
於広島大学生物生産学部（広島県東広島市）
大会委員長 小池一彦（広島大学）
研究発表 口頭、ポスター
高校生による研究発表
シンポジウム、ミニシンポジウム、講演会

(2) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

①支部大会の開催（研究発表、シンポジウム又は特別講演、令和7年12月予定）

b) 東北支部

①支部大会の開催（研究発表、ミニシンポジウム、令和7年10月予定、於福島県）

②支部例会の開催（特別講演、令和8年2月予定、於東北大学）

c) 中部支部

①支部大会の開催（研究発表、ミニシンポジウム、開催日未定）

d) 近畿支部

①前期支部例会の開催（研究相談会、令和7年6月上旬予定、於京都大学農学部）

②後期支部例会の開催（研究発表、講演、令和7年12月上旬予定、於京都大学農学部）

e) 九州支部

①若手の会の開催（令和7年7月予定、於長崎大学）

②支部大会の開催（研究発表、令和7年12月予定、於長崎大学）

③支部例会の開催（シンポジウム、令和7年12月予定、於長崎大学）

(3) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

a) 企画広報委員会

①水産に関する勉強会の開催（開催日未定）

b) シンポジウム企画委員会

①シンポジウムの開催

（令和7年3月26日、於北里大学相模原キャンパス）

「見過ごされてきた極めて小さな珪藻の研究と応用」

企画責任者：山口晴生、外丸裕司

（令和7年9月、於広島大学生物生産学部）

数件の開催を予定している。

②ミニシンポジウムの開催

（令和7年3月26日、於北里大学相模原キャンパス）

「内水面漁協が元気になるためには」

企画責任者：中村智幸

（令和7年9月、於広島大学生物生産学部）

数件の開催を予定している。

c) 水産環境保全委員会

①シンポジウム「水圏におけるマイクロプラスチックの汚染と生物に及ぼす影響と将来」の開催（令和7年3月29日、於北里大学相模原キャンパス（ハイブリッド開催））

②研究会の開催（開催日未定）

③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催（開催日未定）

d) 漁業懇話会委員会

①第76回講演会「スルメイカ不漁を受けての漁業・産業の転換」の開催（令和7年3月26日、於北里大学相模原キャンパス）

②漁業懇話会報の発行

e) 水産利用懇話会委員会

①令和7年度第1回講演会の開催（令和7年7月予定、於東京海洋大学品川キャンパス）

②令和7年度第2回講演会の開催（令和7年12月予定、於東京海洋大学品川キャンパス）

f) 水産増殖懇話会委員会

①令和7年度第1回講演会「MEL 認証と餌問題（仮）」の開催（令和7年3月26日、於北里大学相模原キャンパス）

②令和7年度第2回講演会の開催（令和7年9月24日、於広島大学生物生産学部）

g) 国際交流委員会

①令和7年度公益社団法人日本水産学会春季大会におけるSDGsセッションへの協力

h) 水産教育推進委員会

①ミニシンポジウム「人口減少社会における海洋・水産に関わる教育機関の課題と展望」の開催（令和7年3月予定、於北里大

学相模原キャンパス)

i) 男女共同参画推進委員会

①第1回セミナーの開催(令和7年3月予定, 於北里大学相模原キャンパス)

②第2回セミナーの開催(令和7年9月予定, 於広島大学生物生産学部)

j) 水産学若手の会委員会

①シンポジウム「水産科学のクロスカルチュラルな実践」の開催(令和7年3月26日, 於北里大学相模原キャンパス)

②ナイトポスターセッションの開催(令和7年3月及び9月予定)

③若手研究者による水産研究の紹介及びキャリアパスなどの若手研究者を取り巻く課題について紹介する企画の開催(令和7年9月予定, 於広島大学生物生産学部)

④学生・若手研究者の研究活動・キャリア形成活動を支援するイベントの開催(開催日未定)

k) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業(定款第4条1項3号に定める事業)

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 日本学術会議公開シンポジウム「地球規模の変化に対応したレジリエントな水産業—水産業を評価するための基準を考え直す—」の共催

主催 日本学術会議食糧科学委員会水産学分会, 共催 水産・海洋科学研究連絡協議会, 日本農学アカデミー
令和7年3月14日, オンライン開催

b) 第31回海洋工学シンポジウムの協賛

主催 日本船舶海洋工学会, 日本海洋工学会, 協賛 海洋音響学会 他31団体
令和7年3月17日・18日, 於日本大学理工学部(東京都千代田区)

c) 第62回アイソトープ・放射線研究会の後援

主催 日本アイソトープ協会, 協賛又は後援 応用物理学会 他67学協会
令和7年7月2日~4日, 於日本科学未来館(東京都江東区)

d) Techno-Ocean 2025の協賛

主催 テクノオーシャン・ネットワーク, 協賛 日本海事広報協会 他69団体
令和7年11月27日~29日, 於神戸国際展示場(兵庫県神戸市)

e) その他, 関連学会等が主催する講演会等の共催, 協賛, 後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) (一社)日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社)日本技術士会CPD(継続研鑽)行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び委員の派遣

(7) 海外との学术交流等

a) 令和7年度公益社団法人日本水産学会春季大会へのアメリカ水産学会, イギリス諸島水産学会, 韓国水産科学会及び中国水産学会代表者の招聘

b) アメリカ水産学会大会への代表者及び委員の派遣

c) イギリス諸島水産学会大会への代表者及び委員の派遣

d) 韓国水産科学会大会への代表者及び委員の派遣

e) 中国水産学会大会への代表者及び委員の派遣

f) 韓国水産科学会とオンライン版学術雑誌アクセス権の共有

g) 中国水産学会との学術雑誌の交換

h) アジア水産学会評議員会への代表者の派遣

i) 世界水産学協議会(WCFS)への代表者の派遣

j) 水産教育推進委員会との連携

k) 若手会員に対するインターンシップ, 海外水産関係大会の参加又は学術調査への協力

l) 水産学若手の会との協力(若手研究者の国際学会参加支援)

m) その他, 文献交換の斡旋, 外国人研究者との交流等海外との学术交流に関する事業

(8) ベルソープックス刊行への協力

- (9) 水産技術誌の監修
 - a) 水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。
- (10) 第44回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力
 - a) 小学生を対象とした、朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて、募集ポスターやガイドブックの配付、審査員派遣等の協力を行う。
- (11) 水産高校との連携
 - a) 水産高校との連絡勉強会の開催
- (12) 水産政策に関連する情報収集及び発信
- (13) 男女共同参画の推進
 - a) 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席
 - b) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスターの展示
- (14) 水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進
 - a) SNS等による情報交換
 - b) 発表のない学部学生の大会招待（春季大会及び秋季大会）
 - c) 国際交流委員会との協力（若手研究者の国際学会参加支援）
- (15) 全国水産試験場長会との連携
- (16) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第4条1項4号に定める事業）

- (1) 日本水産学会における賞の授与
 - 学会賞授賞規程に基づき、以下の賞を授与する。
 - a) 日本水産学会賞
 - b) 日本水産学会功績賞
 - c) 水産学進歩賞
 - d) 水産学奨励賞
 - e) 水産学技術賞
- (2) 日本水産学会論文賞の授与
 - a) 論文賞授賞規程に基づき、日本水産学会論文賞を授与する。
- (3) 各支部・委員会等における表彰
 - a) 北海道支部
 - ①最優秀講演賞
 - ②最優秀学生講演賞
 - b) 東北支部
 - ①東北支部長賞
 - ②全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会における東北支部長奨励賞
 - c) 関東支部
 - ①春季大会高校生による研究発表会における表彰
 - d) 中部支部
 - ①支部長賞
 - ②優秀発表賞
 - e) 近畿支部
 - ①優秀発表賞
 - f) 中国・四国支部
 - ①秋季大会高校生による研究発表会における表彰
 - g) 九州支部
 - ①支部長賞
 - ②学生優秀発表賞
 - ③高校生優秀研究発表賞
 - h) 漁業懇話会委員会

①漁業懇話会奨励賞

i) その他

- (4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与
- (5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

- a) 日本水産学会誌第91巻2号～第92巻1号まで計6冊 [報文65編，総説，企画記事等総ページ約1,300ページ（各号300部刊行予定）]
- b) Fisheries Science 第91巻2号～第92巻1号まで計6冊 [報文85編，総説等総ページ約1,200ページ（各号210部刊行予定）]

(2) e-水産学シリーズの刊行

- (3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行
- (4) 日本水産学会誌のJ-STAGE 上における公開